無援の抒情

道浦母都子歌集

道浦母都子歌集
無援の抒情
雁書館

無援の抒情　道浦母都子歌集

一九八〇年一二月二五日初版発行
一九八八年六月二〇日初版第八刷

著　者　道浦母都子（みちうらもと）
大阪府吹田市青山台二―八―二（〒五六五）

発行者　冨士田元彦

発行所　雁書館
東京都千代田区神田神保町一―五五　武富ビル
〒一〇一　電話・東京二九三―七七五五

印　刷　足柄製版印刷株式会社

製　本　佐抜製本株式会社

定　価　二〇〇〇円

歌集　無援の抒情　目次

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com

われらがわれに還りゆくとき

隊列　11
逢い　16
キャンパス　20
翔る　23
一九六八・一〇・二一　27
黙秘　33
房　38
釈放　45
越ゆ　51
一九六九・一・一八、一九　56
本郷　61
言葉　65

面会所 69
傷み 72

冬の旅

海風 81
昌子 85
みおつくしの鐘 89
雪深き町 94
紛雪 100
日常 104
吹雪 108
冬 113
ノクターン 119
シャガール 123

曳航の旗

風の鳴る日 129
何処へ 137
闇に呼ぶ声 143
海に降る雪 154
夏の終わりに 158
彼岸花 163
運河 168
無彩色の空 172

跋　福島泰樹 181

装幀　三嶋典東

無援の抒情　道浦母都子歌集

此为试读,需要完整PDF请访问: www.ertongbook.com

われらがわれに還りゆくとき

隊列

迫りくる楯怯えつつ怯えつつ確かめている私の実在

「今日生きねば明日生きられぬ」という言葉想いて激しきジグザグにいる

催涙ガス避けんと秘かに持ち来たるレモンが胸で不意に匂えり

スクラムを解けば見知らぬ他人にて街に散りゆく反戦の声

稚き手白き手選びてビラ渡すその手がつかむものを信じて

たちまちに雪にまみれて冷ゆるビラ和平遠のく街にまきゆく

リーダーの飲み代に消えしこともある知りつつカンパの声はり上ぐる

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com